

『戦後の昭和期における岡山の近現代建築』展

公共建築の日・公共建築月間イベント

戦後の昭和期は、高度経済成長期からバブルの時代であり、建築物については質より量の時代であったと言われています。

しかし、改めて振り返ってみると、昭和の時代の建築物の中には、施主・設計者・施工者・職人等の熱意や熟練された技術、時代を反映するデザインが見られ、学術的・芸術的・文化的に価値の高いものが多くあることがわかります。

この建築展では、岡山県内に現存する戦後の昭和期に建築された素晴らしい建築物を写真と解説でご紹介いたします。

岡山県庁 設計者：前川 國男

— 岡山県庁会場 —

2021 10.25 [月] ~ 29 [金]

岡山県庁本庁舎
1階 県民室

— イオンモール岡山会場 —

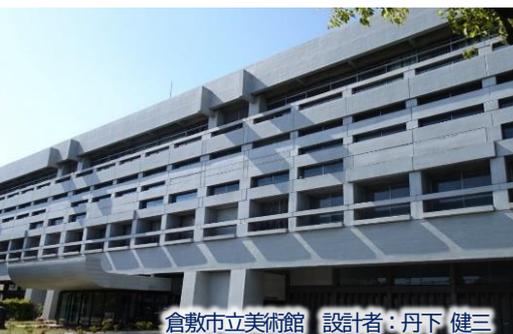
2021 11. 6 [土] ~ 8 [月]

イオンモール岡山
1階 イベントスペース
(未来エスカレーター下)

※両会場とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止する場合があります

※会場にて、県内の近現代建築を紹介する『おかやま建築散歩』をさしあげます(数に限りがありますので、ご了承ください)

「おかやま建築散歩」
はこちらから
ご覧いただけます



倉敷市立美術館 設計者：丹下 健三



津山文化センター 設計者：川島 甲士



岡山県天神山文化プラザ 設計者：前川 國男

【注】この建築展で展示している写真は、昔の写真ではなく、現在の建築物の姿です

お問合せ先 岡山県土木部都市局建築指導課 (TEL:086-226-7499 (直通))

主催 岡山県、おかやま建築5会まちづくり協議会((一社)岡山県建築士会、(一社)岡山県建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会中国支部岡山地域会、(一社)日本建築学会中国支部岡山支所、岡山建築設計クラブ)、「公共建築の日」及び「公共建築月間」中国地方実行委員会